

大学の世界展開力強化事業(2020年度選定) 北海道大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2020年度・タイプA②))
 アフリカと日本の架け橋となる次世代の人材を育成する国際獣医学・保全医学教育プログラム
 ～ザンビア-北大の頭脳循環成果を基盤として～
 【交流推進事業の概要】



【交流プログラムの概要】

保全医学(conservation medicine)の概念は2000年に入り急激に世界に広まった新しい学問分野である。人間の活動に伴う環境の変化とそれに付随する感染症や汚染物質による健康問題を、人間のみならず、動物や生態系、広くは地球全体の健康問題として捉えるOne Healthの概念の下、ザンビア大学との連携により、国際的な保全医学の教育を実施する。事前事後の研修を含む3週間の派遣受入を実施し、最先端の保全医学について学ぶ環境を提供するとともに、現地の文化や日本文化の理解の醸成にも努め、将来長きに渡り日本とザンビア、ひいては日本とアフリカの友好的な国際連携関係の構築に寄与する人材を育成する。さらに、他分野にわたる学生参加と実効性のある質の高い教育評価を行うために日本・ザンビアの保全医学関係者からなるステークホルダーボードを設立し、その支援の下で、コンピテンシー評価を行う。

【本事業で養成する人材像】

- アフリカと日本の連携推進が、グローバルな感染症問題、環境問題、食料生産問題の解決に貢献する、という意識のもと、将来アフリカとの連携に意欲的に取り組む思考態度を有する人材
- 専門分野における優れた知識と技術はもちろん、国際感覚に優れ、また異分野の人間との協働を積極的に行うことができ、国際的な課題を俯瞰しOne Healthに貢献できる人材

【本事業の特徴】

多分野の学生が参加できるようカリキュラムを構築し、日本からは本学の全分野に学生及び教員の派遣枠を設定する。事前事後の研修はオンラインで実施し、現地の実地体験・修学と合わせたハイブリッドの教育プログラムを実施する。また、多分野にわたる学生参加と実効性のある質の高い教育評価を行うために、コンピテンシー評価を行う。

【交流予定人数】

		2020	2021	2022	2023	2024
派遣	実際に渡航する学生	8	8	8	8	8
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	4	10	10	10	10
受入	実際に渡航する学生	4	4	4	4	4
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	8	10	10	10	10